



No.1 Noodle Restaurant Company

証券コード:9900

うどん
りん

第54期 上半期報告書 | 2023年4月1日～2023年9月30日





トップインタビュー

株主様・お客様へ

平素は格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

第54期第2四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年9月30日)〈以下、上半期という〉のご報告にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

上半期におけるわが国経済は、継続する世界的な資源価格の高騰や地政学的リスクによるサプライチェーンの混乱、為替相場の円安進行による仕入れ価格の上昇、及び人員不足等を要因とする人件費の上昇などにより、依然先行き不透明な状況が継続しております。そうした中、新型コロナウイルス感染症〈以下、感染症という〉の感染症法上の位置づけが5類へ移行したことにより、法律に基づいた外出自粛の要請がなくなったこと、及び全国旅行支援や地方自治体によるプレミアム付き商品券の発行などの経済活動促進策により、消費マインドの改善と人流の回復がみられました。

外食産業におきましては、国内消費の伸長及びインバウンド消費の拡大を主因として、回復傾向が強まりました。一方で、食材の仕入れ価格や人件費、光熱費、物流費等あらゆるコストが上昇するなど厳しい経営環境が続いております。

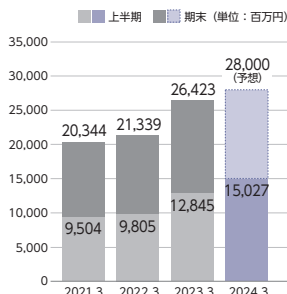
このような環境下、当社グループは、4月からの新経営体制のもと、中期経営計画2023-2025『Together』に基づき、「持続可能性」の追求と「再成長」の実現をテーマとして、基本的価値である“おいしさ・おもてなしの向上”及び「こころとからだ」の健康を目指した“食による提供価値の追求”に取り組んでおります。また、当社最大の経営資源である人財の「物心両面のゆたかさ」を実現し、従業員の「やりがい」と「生きがい」を両立することで、引き続きお客様への提供価値及び企業価値の向上に努めてまいります。

本紙は、その間の取り組み内容をご紹介いたしておりますので、ご高覧いただければ幸いです。

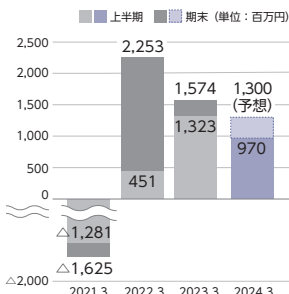


2023年12月
代表取締役社長 大西 尚真

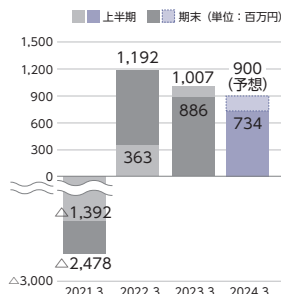
✓ 連結売上高



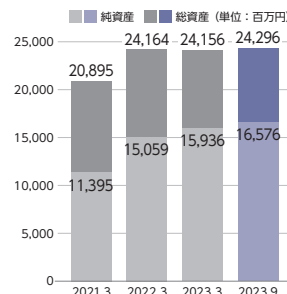
✓ 連結経常利益



✓ 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益



✓ 連結純資産・連結総資産



100年企業に向けて、新体制での船出

業績と取り組み

【Q1】 上半期の取り組みについてお聞かせください。

上半期の業績は、以下のとおりになりました。

	当初計画値	計画値 (11/6修正)	上半期実績
売上高	13,000百万円	15,000百万円	15,027百万円
営業利益	500百万円	930百万円	930百万円
経常利益	510百万円	970百万円	970百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	280百万円	730百万円	734百万円

上半期は、感染症の5類への移行や経済活動促進策によるお客様の行動変化、消費マインドの回復に加え、海外の旅行会社からの団体予約が回復してきたことにより売上高は、2,027百万円、営業利益は430百万円、経常利益は460百万円、また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても454百万円、当初計画値に比べ上回り、2023年11月6日に上半期及び通期の業績予想の修正を行いました。

こうした環境の下、和食処サガミでは、お客様の増加に対応すべく、カウンター席からボックス席への変更、新たな個室の増築による客席数の増加を進めてまいりました。

当社グループは、「おいしい料理」、笑顔ある「おもてなし」を提供することをかねてより使命として拘りをもって取り組んでまいりました。特に本年度の基本方針にも掲げた『「おいしい」をすべてに』については、私自身が各エリアの店舗に赴き、全店舗のストアマネージャーと直

接コミュニケーションをとり、想いを伝えました。当社グループにて働く従業員皆が、私たちの使命の積み重ねと『「おいしい」をすべてに』を具現化してくれたことが、多くのお客様に支持されたのではと考えております。

当社グループは、この上半期に取り組んできた実績を基に更に“しんか”（真価・進化・深化・新化など）させ、直近のあらゆるコスト増などによる激変する市場環境に対応しつつ安定的な経営基盤構築に努めてまいります。





【Q2】今後の出店計画、各事業への取り組みは いかがでしょうか。

上半期における国内出店状況につきましては、5月には愛知県名古屋市昭和区に「和食麺処サガミ 川名店」を、7月に愛知県安城市に「和食麺処サガミ 安城桜井店」を出店いたしました。どちらの店舗も同区、同市内には既存の店舗がなく、ようやく地域の皆様の期待に沿うことができるものと考えております。



また、上半期において当社グループでは、中期経営計画の基本戦略である「持続可能性の追求」と「再成長の実現」に基づき、ポートフォリオに基づく業態の見直し、再構築を推し進めてまいりました。具体的には「団欒食堂 あいそ家 東郷店」の「和食麺処サガミ 東郷店」への業態変更、「Dela PASTA Kitchen 土岐店」の契約満了による閉鎖など、社会・経済状況の変化を見据えた業態のポジショニングに基づき進めてまいりました。下半期においても引き続き、中期経営計画の達成を目指し、スピード感をもって展開してまいります。

今後の取り組みといたしましては、外食産業全体の大きな課題である労働力不足対策について、2023年5月に発表いたしました中期経営計画において、健康に直結する食を扱い、人を資本とする企業の責務として、当社グループで働く従業員を物心両面で支援し、ゆとりをもってもらうことを掲げております。健康経営を推進し、従業員の「やりがい」や「生きがい」を大切にすることは、当社グループの企業理念の延長線上にある取り組みであると考えております。従業員の「やりがい」を向上させる取り組みとしては、評価・表彰制度、報酬体系の見直しを行い、長きに亘り働いていただいているパートナー社員の皆さんが責任者待遇での「やりがい」をもっていただくなど、制度を拡充いたしました。そして、リフレッシュ休暇の取得や、サークル活動、育休制度、全店休業日の設定（一部店舗を除く）など自己成長や「生きがい」に繋がる制度も整備しております。外食産業における労働イメージも変えていきたいという思いがあり、こうした制度を実際に利用しやすい職場環境づくりも併せて進めております。また、業務を標準化し、社員とパートナー社員が垣根なく対応できる環境づくりも、その一環です。対象となる業

務の性質を見極め、IT・DX化を促進し省力化設備を導入することで、基本的価値であるおいしさ・おもてなしの向上に「人」が集中して取り組める環境構築を進めていきます。今後も社員・パートナー社員を問わずグローバル人材を積極採用し、柔軟性のあるシフト勤務により働き方の多様化を促進することを通じて、労働力確保策を強化してまいります。

当社グループでは、ビジネスモデルをおいしさの追求により満足度向上を狙う「体験価値」、ご利用動機を創出し客数の増加を狙う「ご来店」、出店を加速し、お客様との接点増を目指す「お客様接点」の3つを加速させる成長ドライバーとして掲げております。

【Q3】SDGsの取り組みとしてはいかがですか。

当社グループは「より良き社会・より良きサガミを次世代に」をテーマに、サガミグループの成長だけでなく持続可能な社会構築のためSDGsへの取り組みも進めています。環境面においては、店舗で発生した廃油の再利用や宅配用のバイクに電動バイクを導入するなど、環境に与える影響を軽減するための取り組みを行っています。その他にも、国連WFP協会が主催する、世界の子どものための学校給食を支援するレッドカップキャンペーンへ参加するなど、今後も「より良き社会・より良きサガミを次世代に」を実現するための活動を続けてまいります。

【Q4】改めて株主様及びお客様へメッセージをお願いいたします。

このたび、ステークホルダーの皆様へ、当社グループの企業活動の全体像、企業価値創造に向けた戦略や目標を総合的に紹介し、理解をより一層深めていただくことを

目的として、初めて統合報告書を発行いたしました。当社ホームページにてご紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

また、感染症の影響も徐々に薄れてきた中、当社は、9月の8・9日の両日、愛知県名古屋市の吹上ホールにて開催された名証IR EXPOに出展いたしました。コロナ禍明け2回目の開催となり、昨年に比べ約1.5倍の来場者数があり、当社ブースにも多くの投資家の皆様にお越しいただけました。当社の株主様は個人株主様が主体であり、当社グループの店舗を利用されるお客様でもあります。その株主様数がこの一年で約1,400人増加している状況であり、引き続きこうしたIR活動や投資家説明会に力を入れていく所存でございます。

最後に、お客様にとってのおいしい料理とおもてなしの価値を追求し、一人でも多くの地域のお客様に「サガミグループで食事をしてよかった」、一人でも多くの従業員に「サガミグループで働いてよかった」と思ってもらえることが、私に課せられた最も重要な使命であると認識しています。それによりサガミグループで働く社員及びパートナー、お客様へと笑顔のサイクルが生まれるのではないのでしょうか。おいしい料理と心温まるおもてなしが、お客様の笑顔に繋がり、社員一人ひとりにも笑顔が生まれて、その笑顔がさらなる喜びの連鎖を生む。そうした組織、チームをつくり上げることが、「しんか」（真価・進化・深化・新化など）に繋がり、企業そのものの成長に繋がると私は確信しています。

サガミホールディングスの次の50年に向けて、グループビジョンである「No.1 Noodle Restaurant Company」に少しでも近づきたいと思っております。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



和食麵処サガミ 新規出店のお知らせ

2023年5月12日に愛知県名古屋市昭和区に和食麵処サガミ川名店を出店いたしました。

同店は、和食麵処サガミとして、名古屋市昭和区への初出店の店舗であり、和菓子店併設2店舗目となり平日から多くのサガミファンにご利用いただいております。

また、近隣には自然豊かな東山動植物園や川名公園があり、週末には多くの人々が訪れる観光スポットとなっております。

近くにお立ち寄りの際は、ぜひご来店ください。



川名店

【住 所】名古屋市昭和区安田通7丁目7

【電話番号】052-763-1018

【営業時間】8時から 22時まで (オーダーストップ21時30分)

2023年7月19日に愛知県安城市に和食麵処サガミ安城桜井店を出店いたしました。

同店は、安城市の中でも自然が多く、子育て世代に暮らしやすい桜井エリアに位置しています。

西三河エリアでは、11店舗目となりますが、西三河地域一番店を目指し、地元のお客様に喜んでいただける店舗を目指しております。

近くにお立ち寄りの際は、ぜひご来店ください。

安城桜井店

【住 所】愛知県安城市桜井町新田50

【電話番号】0566-99-5010

【営業時間】8時から 22時まで (オーダーストップ21時30分)



TOPICS



統合報告書作成

当社は、「私たちは、「食」と「職」の楽しさを創造し、地域社会に貢献します ～すべてはみんなのゆたかさと笑顔のために～」を経営理念として掲げ、半世紀以上に亘りそば、うどんを中心とした和麺ファミリーレストランを展開してまいりました。

この度、ステークホルダーの皆様へ、当社グループの企業活動の全体像、企業価値創造に向けた戦略や目標を総合的に紹介し、理解をより一層深めていただくことを目的として、初めて統合報告書を発行いたしました。

当社は、本報告書を通じて、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションの向上を図るとともに、当社グループのさらなる企業価値の向上に取り組んでまいります。

統合報告書2023の概要

発行日：2023年8月28日(月)

対象期間：2022年4月1日～2023年3月31日

※一部に2023年4月以降の活動内容と情報を含みます。



統合報告書 2023



TOPICS



名証IR EXPO 2023への出展

9月8日(金)、9日(土)の2日間に渡り、名古屋市の「吹上ホール」において、名証IR EXPO 2023が開催されました。

名証IR EXPOは、個人投資家と企業担当者が直接触れあうことができるIRイベントです。本年は、116社の企業や証券会社などが参加し、期間中は8,500名の来場がありました。コロナ禍で3年間、開催が見送られ、昨年から再開されたイベントですが、昨年の5,600名から大幅に来場者が増え、両日ともに賑わいを見せました。

当社もブースを出展し、多くの投資家、株主の方々にお越しいただきました。合計10回開催した当社ブース内説明会では、サガミグループ初となる統合報告書を活用しながら、中期経営計画に基づき、直近の取り組みや今後の計画についての説明をいたしました。また、店舗にもご来店いただけるよう、メニューや宇宙食の紹介もいたしました。皆様、熱心に耳を傾けてくださり、また、様々なご質問やご意見、激励のお言葉をいただきました。当社に関心を持ち、投資やご来店していただける方を増やすために、今後も様々な方法で情報発信をしてまいります。

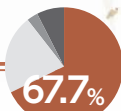




部門別外食事業の状況

和食麺処 サガミ部門

10,181 百万円



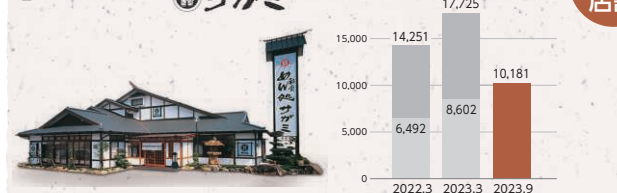
和食麺処サガミ部門では、全店販売促進企画として、「料理フェア」を4回実施いたしました。

また、4月に「ゴールデンウィーククーポン配布企画」及び「新メニュー告知チラシの折り込み」、6月にうなぎメニューを訴求した「父の日企画」、7月に「夏の感謝祭」、9月に「シルバーウィーククーポン配布企画」及び「敬老の日フェア」を各1回実施いたしました。加えて、7月に「夏の感謝祭テレビCM」、8月に「北海道味めぐりメニューのテレビCM」を放映いたしました。更に一部地域販売促進企画として、4月に「センキョ割」、7月に「御園座招待企画」を実施いたしました。

これにより、既存店売上高は前年同一期間に対して14.9%増となり、既存店客数は前年同一期間に対して12.2%増、客単価が前年同一期間に対して2.4%増となりました。

店舗関係では、「和食麺処サガミ 川名店」(5月)、「和食麺処サガミ 安城桜井店」(7月)、「和食麺処サガミ 東郷店」(9月)を出店いたしました。その一方、「和食麺処サガミ 越谷南店」(7月)を閉鎖いたしました。

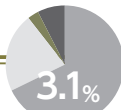
■対象店舗



135 店舗

どんどん庵部門

474 百万円



どんどん庵部門では、全店販売促進企画として、「料理フェア」を5回実施いたしました。また、4月に「どんどん祭り」を実施いたしました。

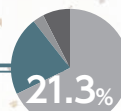
■対象店舗



32 店舗 (FC含む)

味の民芸部門

3,206 百万円



味の民芸部門では、全店販売促進企画として、「料理フェア」を計4回実施いたしました。また、5月に「母の日御膳」メニューの販売、6月に「父の日フェア」、6月及び7月に計6日間「手延べうどん食べ放題企画」、7月に手羽先及びアルコール商品をお値打ち販売した「夏のごちそうフェア」、9月に「敬老の日フェア」を各1回実施いたしました。加えて、4月に岡山及び千葉地区においてテレビCMを放映いたしました。

店舗関係では、「味の民芸 東大和店」(6月)を閉鎖いたしました。

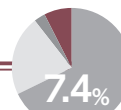
■対象店舗



50 店舗 (FC含む)

その他の部門

1,126 百万円

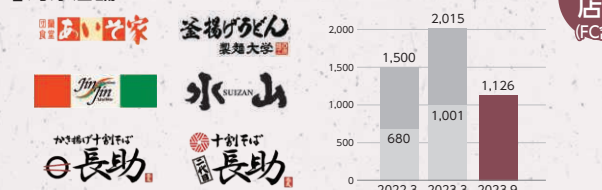


その他の部門では、団樂食堂「あいそ家」では、「料理フェア」を4回実施いたしました。大型セルフうどん店「製麺大学」では「料理フェア」を5回実施いたしました。セルフ十割そば「長助」では、「料理フェア」を「かき揚げ十割そば長助」で5回、「十割そば二代目長助」で5回実施いたしました。また、「十割そば二代目長助野田店」で、「十割そば食べ放題企画」を3回実施いたしました。

国内店舗関係では、「Dela PASTA Kitchen土岐店」(8月)を閉鎖したほか、「あいそ家東郷店」(8月)を業態転換に伴い閉鎖いたしました。

海外店舗関係では、イタリア・ペローナ市に「SAGAMI ペローナ店」(8月)をFCで出店いたしました。

■対象店舗



33 店舗 (FC含む)

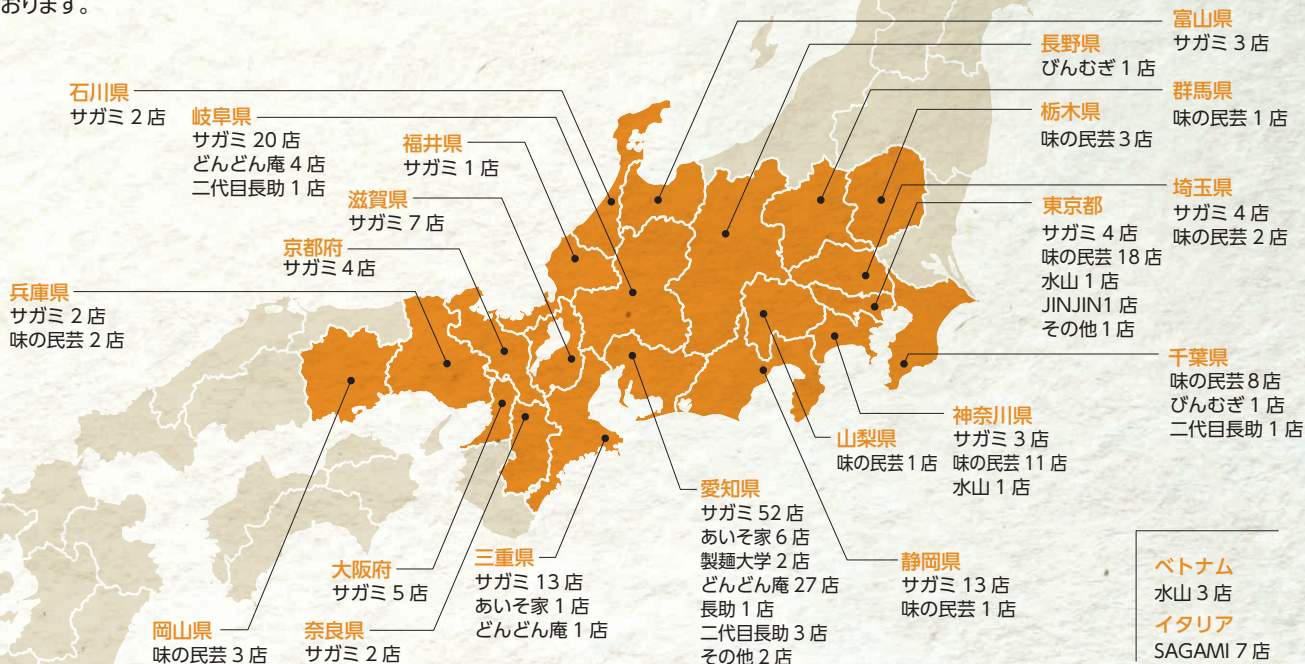
店舗ネットワーク

(2023年9月30日現在)



合計
250
店舗

当社グループは、「和食麺処 サガミ」「味の民芸」「あいそ家」「どん
どん庵」「水山」「製麺大学」「びんむぎ」「JINJIN」「長助」「二代目
長助」「がぶか」「SAGAMI」を展開しております。また海外はベ
トナムのホーチミン、イタリアのミラノ、モデナ、ポローニヤ、パ
ルマ、レッジョ・エミリア、ベリンザーゴ・ロンバルドに展開して
おります。



小型店舗モデルの出店加速とフランチャイズ展開の推進

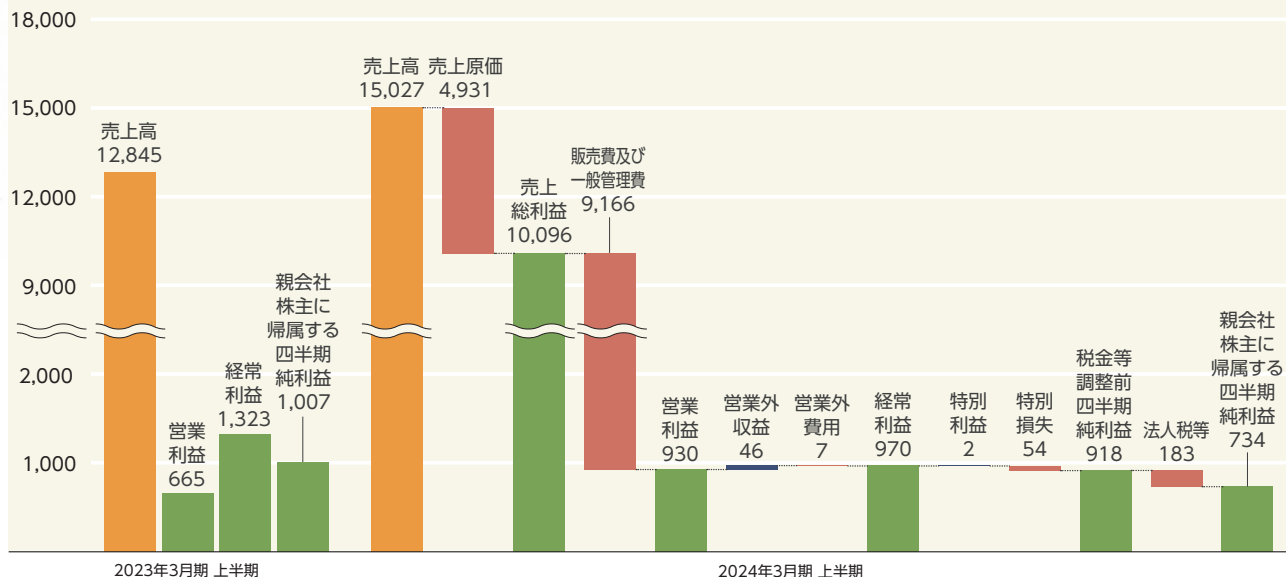
当社グループの事業（業態）ポートフォリオにおいて小型店舗モデルである「長助」の出店を強化しています。十割そばに特化した「長助」はお客様自身が料理を運ぶセルフサービス型の店舗です。商品の提供価格に加えて、店舗構築やその運営面においてもコストパフォーマンスが高い小型店舗を国内の市場環境を踏まえて拡大していきます。



連結財務諸表 (要約)

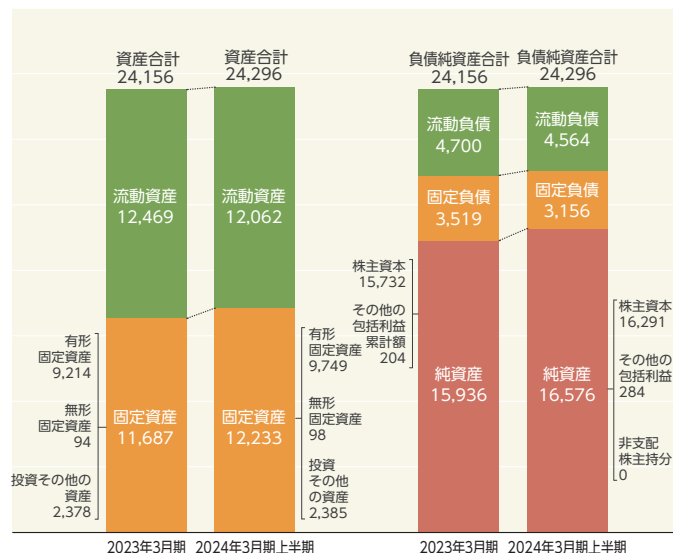
■ 連結損益計算書

(単位：百万円)



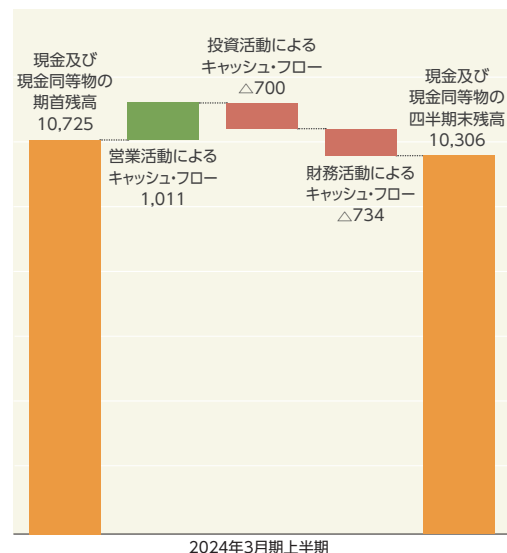
■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)





■会社概要

商号	株式会社サガミホールディングス
設立年月日	1970年(昭和45年)3月4日
資本金	9,090,653,149円
従業員数	535名
本社	名古屋市守山区八剣二丁目118番地
店舗数	250店舗
グループ企業	サガミレストランツ株式会社 味の民芸フードサービス株式会社 株式会社サガミマネジメントサポート 株式会社サガミフード サガミインターナショナル株式会社 SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD. VIETNAM SAGAMI JOINT STOCK COMPANY

■役員

代表取締役社長	大西 尚 真
取締役常務執行役員	鷺津 年 春
取締役執行役員	三ツ口 質
取締役執行役員	中島 康 文
取締役執行役員	川口 奈 央
取締役	川瀬 千賀子 (社外)
取締役	有馬 祥子 (社外)
取締役常勤監査等委員	長谷川 喜 昭
取締役監査等委員	神谷 俊 一 (社外)
取締役監査等委員	村上 貴子 (社外)

(注) 川瀬千賀子、有馬祥子、神谷俊一及び村上貴子の各氏は、「会社法」第2条第15号に定める社外取締役であります。

■株式情報

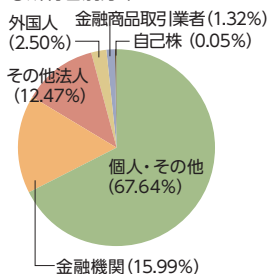
1 発行可能株式総数	100,000,000株
2 発行済株式総数	30,301,784株
3 株主数	22,114名
4 大株主	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,706	8.93
昭和産業株式会社	1,194	3.94
アサヒビール株式会社	1,032	3.40
株式会社愛知銀行	923	3.05
株式会社昭和	433	1.43
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	381	1.26
大嶋 つき子	375	1.23
サガミ共栄会	373	1.23
モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社	277	0.91
JP MORGAN CHASE BANK 385781	249	0.82
合 計	7,947	26.24

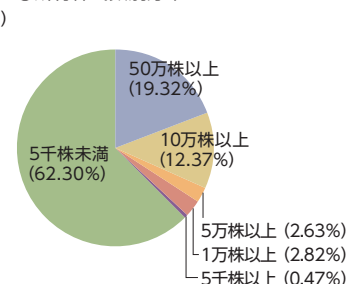
(注) 1. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。
2. 当社は、自己株式として17,967株を所有しております。
3. 当社は、株式給付信託(BBT)を導入しており、株式会社日本カस्टディ銀行(信託E口)が130,700株を所有しておりますが、ここでは上記自己株式に含めておりません。

5 株式分布状況

①所有者別分布



②所有株式数別分布



事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	公告方法	電子公告
定時株主総会	毎年6月下旬		事故その他やむを得ない事由によって
配当金受領株主確定日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日		電子公告による公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。
基準日	定時株主総会関係 毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ 公告いたします。	上場金融商品取引所	東京証券取引所 プライム市場 名古屋証券取引所 プレミア市場
		インターネット ホームページ	https://www.sagami-holdings.co.jp/



株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同事務取扱場所 〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 及び電話照会先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (通話料無料)

株主優待のご案内

証券コード：9900

・1,000株以上保有の株主様※1
年間3万円分(消費税を含む)の株主優待食事券
(1万5千円を年2回)を贈呈



・500株以上1,000株未満保有の株主様※2
20%割引券を年間10枚(5枚を年2回)贈呈

・100株以上500株未満保有の株主様※2
20%割引券を年間4枚(2枚を年2回)贈呈

【権利確定日】毎年3月31日、9月30日
【発送予定】毎年6月下旬、12月中旬



左記QRコードよりご利用店舗
をご確認いただけます。

※1.1回の利用額に制限がなく、「サガミ」「味の民芸」「あいそ家」「どんどん庵」「水山」「製麺大学」「SAGAMI」「ごちたく」「びんむぎ」「JINJIN」「ぶぶか」「長助」「二代目長助」にてご利用いただけます。

※2.1枚につき、割引上限金額は3,000円(税込)となります。株主優待券を含む他の券との併用はできません。ご飲食代金及びテイクアウト商品代金にご利用いただけます。「どんどん庵」「水山」「製麺大学」「JINJIN」「びんむぎ」「ぶぶか」「長助」「二代目長助」においては、20%割引ではなく、お一人100円(税込)割引とさせていただきます。1枚で4名様までご利用いただけます。

注：株主優待券はサガミお食事券(商品券)及びコーヒーチケットの購入、現金との引換え、差額の釣銭はできません。

ホームページのご案内

各業態の店舗情報やメニュー情報をはじめ、当社グループに関する様々な情報を発信しております。ぜひご覧ください。

<https://www.sagami-holdings.co.jp/>



株式会社サガミホールディングス

〒463-8535 名古屋守山区八剣二丁目118番地
電話 052-737-6000

